

環境活動レポート

平成29年度

(対象期間:平成29年8月～平成30年7月)



発行日:平成30年11月15日



藤榮電気工事株式会社

目次

1. 組織の概要	1
2. 認証・登録の対象範囲	1
3. 環境方針	2
4. 環境目標	3
5. 環境活動計画	4
6. 環境目標の実績	5
7. 環境活動計画の取組結果と その評価、次年度の取組内容	6
8. 行事写真	7
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価 の結果並びに違反、訴訟等の有無	8
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	8

1. 組織の概要

1) 事業所名 代表者氏名	とうえい 藤榮電気工事株式会社 代表取締役 藤瀬 浩幸												
2) 所在地	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神五丁目5番5-1号												
3) 環境管理責任者 担当者 連絡先	営業部/部長 岩崎 裕時 省エネ環境事業部/課長 岡本 道久 TEL092-721-5155 FAX092-721-5169 Eメールアドレス toeidenki@kind.ocn.ne.jp ホームページ http://toei-denki.com/												
4) 事業の内容	電気工事業 (建設業許可番号 : 福岡県知事許可 (特-26) 第20017号)												
5) 事業の規模	売上額: 8億1,078万円(第46期 H29.8~H30.7) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>本社</th> <th>事務所倉庫</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>従業員数</td> <td>人</td> <td>20</td> <td>無人</td> </tr> <tr> <td>延床面積</td> <td>m²</td> <td>188</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table>		単位	本社	事務所倉庫	従業員数	人	20	無人	延床面積	m ²	188	22
	単位	本社	事務所倉庫										
従業員数	人	20	無人										
延床面積	m ²	188	22										
6) 事業年度	8月~翌年7月												

2. 認証・登録の対象範囲

上記の全組織及び全活動 1) 対象事業所	本社
2) 事業活動	上記の事業内容

環境経営方針

藤栄電気工事株式会社は、電気設備工事業の活動を通じて、社会の関心が高い環境問題に全社一丸で取り組み、環境改善を継続的に推進し、社会に貢献致します。

1. 事業活動に伴う環境への負荷を削減するために、以下の環境への取り組みを行います。
 - (1) 社内の電気の省エネルギーを推進して、二酸化炭素排出量を削減します。
 - (2) 車両等のエコ運転に努めて燃料を削減して、二酸化炭素排出量を削減します。
 - (3) 廃棄物の発生抑制・削減・リサイクルを推進します。
 - (4) 節水により水使用量を削減します。
 - (5) 事務用品のグリーン商品購入を推進します。
 - (6) 環境に配慮した省資源、省エネ提案に努めます。
2. 当社の事業活動において、関連する環境関連法規等を遵守します。
3. 環境活動レポートを作成して公表することで、環境コミュニケーションを推進します。
4. この環境方針を全社員に周知し、環境負荷の低減に対する意識向上に努めます。

制定日 平成28年 8月25日



藤栄電気工事株式会社

代表取締役 藤瀬 浩幸

4. 環境経営目標 (活動期間:H29年8月~H30年7月)

環境目標	サイト区分	単位	基準年	目標						
			H27年度	H28年度(1%削減)			H29年度(2%削減)	H30年度(3%削減)	H31年度(4%削減)	
				試行期間(3ヶ月)	今期残期間(8ヶ月)	合計(11ヶ月)				
			H27年8月~H28年7月	H28年9月~H28年11月	H28年12月~H29年7月	H28年9月~H29年7月	H29年8月~H30年7月	H30年8月~H31年7月	H31年8月~H32年7月	
1. 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO ₂	46,019	11,390	30,373	41,762	45,099	44,638	44,178	
① 電気使用量の削減	事務所	kWh	21,057	5,212	13,897	19,109	20,636	20,425	20,215	
② ガソリン使用量の削減	事務所	L	3,091	765	2,040	2,805	3,029	2,998	2,967	
③ ガソリン使用量の削減	現場	L	11,382	2,817	7,512	10,329	11,154	11,041	10,927	
2	① 一般廃棄物排出量の削減	事務所	kg	1,720	426	1,135	1,561	1,686	1,668	1,651
	② 産業廃棄物排出量の削減	現場	kg	700	173	462	635	686	679	672
3	① 水使用量の削減	事務所	m ³	87	21.5	57.4	79.0	85.3	84.4	83.5
4. グリーン購入の推進	事務所	購入率(%)	83	84	84	84	85	85	86	
5. 省資源・省エネ型施工の提案及び省エネ関連研修会への参加	全社	提案件数	14	4	10	14	14	14	15	
	全社	研修会参加回数	10	3	7	10	10	10	10	

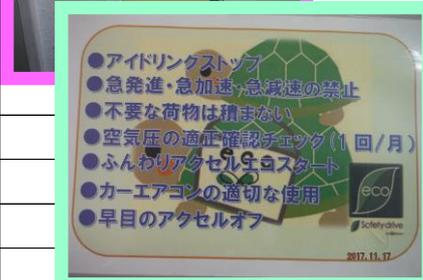
備考

1. 購入電力の二酸化炭素実排出係数は、0.584kg-CO₂/kWh(九州電力 平成26年度)を使用した。

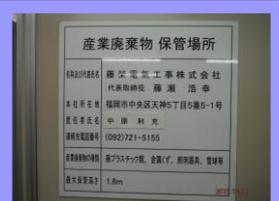
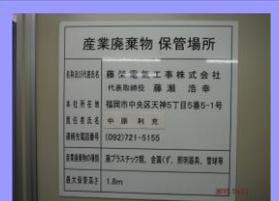


5. 環境経営活動計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

活動項目		部門（責任者）	備考
電気使用量削減	エアコン設定温度を決め、実行する	岡本	
	使用していないパソコン電源を切る	岡本	
	昼休み時間の消灯	岡本	
	トイレの照明は使用時のみの点灯とする	岡本	
	空調機フィルターの定期清掃（年1回）	岡本	
ガソリン使用量削減（事務所）	アイドリングストップ	岡本	
	急発進・急加速・急減速の禁止	岡本	
	不要な荷物は積まない	岡本	
	空気圧の適正確認チェック（1ヶ月1回）	岡本	
	ふんわりアクセルエコスタート	岡本	
	カーエアコンの適切な使用	岡本	
	早めのアクセルオフ	岡本	
ガソリン使用量削減（現場）	アイドリングストップ	岡本	
	急発進・急加速・急減速の禁止	岡本	
	不要な荷物は積まない	岡本	
	空気圧の適正確認チェック（1ヶ月1回）	岡本	
	ふんわりアクセルエコスタート	岡本	
	カーエアコンの適切な使用	岡本	
	早めのアクセルオフ	岡本	

2. 廃棄物排出量削減

活動項目		部門（責任者）	備考
一般廃棄物排出量の削減	分別によるリサイクルの推進	花田	
	コピー用紙裏紙の利用	花田	
産業廃棄物排出量の削減	分別によるリサイクルの推進	花田	
	転用可能な資材の活用	花田	

3. 水使用量削減

活動項目		部門（責任者）	備考
節水活動	節水ラベルの貼付	竹内	
	節水コマの取付	竹内	
	水の出しっぱなしをしない	竹内	

4. グリーン購入推進

活動項目		部門（責任者）	備考
グリーン商品の購入率アップ	グリーン商品（事務用品）の購入	片渕	

5. 環境配慮の推進

活動項目		部門（責任者）	備考
省資源・省エネの提案	LED照明・太陽光発電の提案	坂本→石田	
	省エネ関連の研修会への参加	坂本→石田	

6. 環境経営目標の実績

活動期間：H29年8月～H30年7月

環境目標	サイト	単位	基準年 (H27年度)	H29年8月～H30年7月(12ヶ月)			
				目標	実績	差異	結果の評価
1. 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO ₂	46,019	45,099	37,934	-7,165	目標数字より削減できており、今後も継続して削減に努める。
① 電気使用量の削減	事務所	kWh	21,057	20,636	16,322	-4,314	目標数字より削減できており、活動項目についても意識の向上が見られる。
② ガソリン使用量の削減	事務所	L	3,091	3,029	2,477	-552	目標数字より削減できており、各個人がエコドライブの意識が高まった。
③ ガソリン使用量の削減	現場	L	11,382	11,154	9,720	-1,434	目標数字より削減できており、各個人がエコドライブの意識が高まった。
2 ① 一般廃棄物排出量の削減	事務所	kg	1,720	1,686	937.8	-748	目標を達成しております。今後も継続して削減に努めます。
② 産業廃棄物排出量の削減	現場	kg	700	686	0	-686	目標を達成しております。今後も継続して削減に努めます。
3 ① 水使用量の削減	事務所	m ³	87	85.3	118.0	33	水漏れ事故もあり目標を大幅にオーバーしている。各個人意識は高まっているので事故等には特に気をつけていきたい。
4. グリーン購入の推進	事務所	購入率(%)	83	85	66	19	グリーン購入に対する意識は高まってはいるが、本年度は改修事に伴い通常と異なるグリーン対象外の購入が多くなったため目標達成は出来なかった。
5. 省資源・省エネ型施工の提案 及び省エネ関連研修会への参加	全社	提案件数	14	14	14	-0	目標を達成していますが、今後は実績に結び付ける必要がある。
	全社	研修会参加回数	10	10	18	8	目標を達成しており、今後も積極的に参加が必要。

備考

1. 購入電力の二酸化炭素実排出係数は、0.584kg-CO₂/kWh(九州電力 平成26年度)を使用した。



7. 環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容



藤栄電気工事株式会社

1. 二酸化炭素排出量の削減

活動項目		実施状況				年間の評価	次年度における取組内容
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期		
電気使用量削減	エアコン設定温度を決め、実行する	○	○	○	○	電気使用量は、目標比△4,314kWhで大幅に達成できました。活動項目も全員の意識の向上が見られます。ガソリン使用料は、目標比△1,986L（現場+事務所）で達成できました。活動項目も全員の意識向上が見られますが、空気圧の適正確認の更なる徹底を行い、今後もエコ運転を心掛ける必要がある。	電気使用量、ガソリン削減共に活動項目に対する意識を更に高め、二酸化炭素排出量削減に取り組む。
	使用していないパソコン電源を切る	○	○	○	○		
	昼休み時間の消灯	△	△	○	○		
	トイレの照明は使用時のみの点灯とする	○	○	○	○		
	空調機フィルターの定期清掃（年1回）	—	○	—	○		
ガソリン使用量削減（事務所）	アイドリングストップ	○	○	○	○		
	急発進・急加速・急減速の禁止	○	○	○	○		
	不要な荷物は積まない	○	○	○	○		
	空気圧の適正確認チェック（1ヶ月1回）	△	○	△	△		
	ふんわりアクセルエコスタート	○	○	○	○		
	カーエアコンの適切な使用	○	○	○	○		
	早めのアクセルオフ	○	○	○	○		
ガソリン使用量削減（現場）	アイドリングストップ	○	○	○	○		
	急発進・急加速・急減速の禁止	○	○	○	○		
	不要な荷物は積まない	○	○	○	○		
	空気圧の適正確認チェック（1ヶ月1回）	○	○	○	○		
	ふんわりアクセルエコスタート	○	△	○	○		
	カーエアコンの適切な使用	○	○	○	○		
	早めのアクセルオフ	○	○	○	○		

2. 廃棄物排出量削減

活動項目		実施状況				年間の評価	次年度における取組内容
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期		
一般廃棄物排出量の削減	分別によるリサイクルの推進	○	○	○	○	前年度に比べても、資産を流用する割合が増えています。紙の資源だけでなく、材料等も倉庫のものを利用する意識が強まっていると思います。	倉庫の資材を優先的に使用し、在庫をなるべく流用することで、リサイクルにつなげていきます。
	コピー用紙裏紙の利用	○	○	○	○		
産業廃棄物排出量の削減	分別によるリサイクルの推進	○	○	○	○		
	転用可能な資材の活用	○	○	○	○		

3. 水使用量削減

活動項目		実施状況				年間の評価	次年度における取組内容
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期		
節水活動	節水ラベルの貼付	○	○	○	○	①水が流れたままの事故が発生し使用量の増加に繋がった。②節水意識は高まっていると思う。	節水意識の向上。社内会議及び短時間の来客等へのお茶出し等の中止をすることで節水意識を高めている。
	節水コマの取付	○	○	○	○		
	水の出しっぱなしをしない	○	○	○	○		

4. グリーン購入推進

活動項目		実施状況				年間の評価	次年度における取組内容
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期		
グリーン商品の購入率アップ	グリーン商品（事務用品）の購入	○	○	○	○	意識は強まっているがグリーン対象商品が無い物もある為達成は中々厳しい。	グリーン商品の件で購入依頼先へ問合せたら、グリーン商品拡大とグリーン商品専用カタログを作成予定だということなので、今後意識をもって取組たい。

5. 環境配慮の推進

活動項目		実施状況				年間の評価	次年度における取組内容
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期		
省資源・省エネの提案	LED照明・空調改修の提案	×	○	○	○	研修会参加件数は達成しているが、今後は成果につなげる必要がある。	研修会等に積極的に参加し、提案件数を増やし実績につなげる。
	省エネ関連の研修会への参加	○	○	○	○		

8. エコアクション21 行事写真

H29.11.18 H29年度全体会議



H29.09.30 防災訓練

H30.01.17 第1回委員会



H30.03.31 エコドライブ・勉強会

H30.04.10 第2回委員会



H30.07.04 第3回委員会

H30.10.04 第4回委員会



出席者の皆さま 1年間 お疲れ様でした。
次期1年間もよろしくお願ひします。

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動、製品及びサービスに適用される環境関連法規等は次のとおりです。

適用される法規等	適用される事項(施設・物質・活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正処理
自動車リサイクル法	使用済自動車の引渡義務
家電リサイクル法	排出事業者及び消費者の責務
下水道法	排除基準の順守

H30年8月に上記の環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

前回同様に、管理責任者を中心に各担当者は意識も高く活動を行っており、定期報告会においても反省と改善について前向きな意見交換がなされていました。

しかし、事務所の改装や人員の増加などにより目標値に届かずモチベーションの維持が困難な点もあり検討が必要と考えます。

また、全社員への周知という部分では更なる改善ができると思われるので、次年度の重点的な課題として取り組んでいきたいと考えます。